翼の蔭から見たビルマ戦

整備兵も機銃で應戦

逞しきかな陸右

干**リ 車月** 東共刊夕朝日本

結成大會

人火傷も忘れて敢鬪 **榊山 潤手 記** 陸軍報道班員

人知れぬ勞苦、基地の生活

逐に還らず

は未だ遺かつた、二月下旬、私は泰北部の基地にあた、そこからモ

かが爆撃の正確さ(異なり)

聖戦念遂と半島

のであり、蹶燃事態の態長である「た世腔的順脳なるものは、これはく蹶湍痛艦を撃機として起つたも「レて天々に退つて現在までに至つと頭力てみれば、支渉事機は同じ一隅も先う蹶湍へ降空第一の前機と

世界維新の大戦争

新しき國、生みの惱み

ン役面際解の抗・機ト

米英軍、象牙海岸に進駐

院船を雷





性体 器•中耳炎 国·肺炎 桃腺炎 製法特許し 應 人科疾患

技術の錬成と日本精神を體得

興農靑年報國隊體驗發表座談會

說社

義務教育制實施

一周 年

この好機にこの記念投資を!

設立

(下)

1生11层16

しめる。 完的治療を促進せ

YYY.

and the second s

三十年努力の成果



結構の

2

山之內親藥株式會社

大として美しいのですり たして美しいのですり として美しいのですり はホンノリト機 のたける 体護しませう / 化學研究所口與 洗顔クリーム。品 ジグクリーム温 『アクリームる 砅 は後間に有り)



期間 五ケ年期日 十二月十二日迄 (1883年四分四、五厘(1883年) 工益證券 第十一次費出 一口ニッキ五白圖(樹込金:元智 / 400二三城京蓄损•一五三八本間

と言へます。

成職等の難勝一属年記念に是非細加入あらんことを切にお願い

金 額 側

しめて紹介したものです。 初の投資信託』は昨年十一月野村殺分が長年 | | |接投資としての妙味を現實に樂しむことが | |接定義による配常、其の上五百圓の資金で | |を記載による配常、其の上五百圓の資金で

お洒落も國産品

されたのだ

あつたり、ヤドレー

人々は、今も私の思ひ出の中に 鮮かに うつ

國策映畫に樂しむ

今いでこ 安價な生活文化

展し、戦闘を観撃しようとした約 地でされつへあつた米閣郷豊が自 戦がは定治なのるとに世界を证 ができれつへあつた米閣郷豊が自

でした。 最終の和信を眺め内内の自然直縁 でもついこ年他まで

三十機、晴れの献納式

神宮に蘆毛の駿馬

医南道民の赤誠

漫然たる渡航嚴禁

好評の在北支半島

千四百萬圓を突破 支那事變以來 この金字塔 献

1917:14、半年に「大・大阪郷養以来十一月末日まで、兵巻も組規に自立十帙、自立三戦、北部は日十二歳七千八百七十一大、大阪郷養以来十一月末日まで、兵巻も組規に自立十帙、自立三戦、北部第7後、収蔵・北部 (1918年) 「東京 (1918年) 「東京 (1918年) 「東京 (1918年)」「東京 (1918年)

お茶でのむと 大

日吉先生を募る

京中教へ子の謝恩會

松陰神社に参拝 學童使節一路歸途へ

井柳太郎氏の日程

遞信局の記念行事

祝こ一次、五日朝明治郷新の

多幸な半島教育界

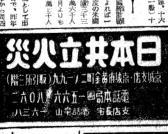
義務制に兩氏の感激

巻行するが、この神鵙は下総御科牧場産系統のアングロ興を祈願することになり同日午後一時から神宮大雨に奉

記の大動亂渦中に於て 法職し、目出では陸軍報道が員として親しく今よっく、 語をつける語氏の『永遠の女』に略を

た。 無難商じく職職させて作者を数のある 二題し、雄渾の鑑筆を 輝 はれるとになつ 蔓を大東亜金城にとり『大いなる祭』と

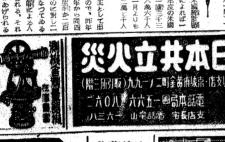




名名

8

The state of the s





場物催階六・五 場會









映畫座談

7.称岩夫裳と僕・館容

選

羅用

部力の錬成……

日本の教師

東ほ 化學研究

菊

文

H

^有 **全社** 全社 **坐下傳統物味** 衛衡出 菊一文字雙五刀 臺場期書 がいます。 凊

肵

員 操 極摩品豊富 紹 介

Colored Colore

斯第一十八回定時來主题實際了換停止公告 株 武 會 行

物 產

ある抗石油の特配は取棄で た對してはアセチレン版の

到り大萬府政の帝第八しかり 以つて職機二百五十倍を始め、た。至州所曹尉の称数戦勁が落区、戦を強撃し、八十一萬七千餘円を

鐘紡に正式建設許可

全州の大麻工場



火を輸出職級内十、十一月分一米英麗族に今こそ活かせ鑑と

女子も男子に伍し堂々

四、周知事項

山と持込む

龍山の金屬回收好績

人家庭の頼母しい意氣を示した

関節未解者約五十名を集めて職局町四七三で國際番及の醗医を

殊勳の 素生町會で 春生町會で

次に、 圏鑑をする。 何でも自 影ので、テニヲハ

らない映畵はこれだりのであるが、夫が、兄弟が戦つればなりのであるが、兄弟が戦つのない。

大 ・山崎の病 ・家二病

日本饋業或會社

没有

で勝念のない繋似胃年除では大選しい猛烈な削緩と教養を積ん 男女青年隊の練磨

用版を活用、木製不足を組ひま なっと、府内で生産出来る代用をあると、府内で生産出来る代用 木炭代りに〜寶炭〜

とになったが、糠の頭頭は六十

設置する計畫である

一般生、その後次代を増ふり年た

関制に平原して加平面壁図頭員 赤誠沸る金屬供出

の期間までに削留

10年、全北の供米戦・

等の風熱爆器を心よく登出し 夥しい臓に上り大気燈を吐っ

!

治座

京日窠

名戦をあげ、今や道をあげて **木決勝賊が酷である。尚道當局** の供米班別を展開、早くも一

器に對しては八日の大配奉獻日

坂州の志願兵檢査 養魚場を兼ねた貯水池

明朝を強行することになり数 【無難】撃害をあくまで人類的 増米へ先づ良品種

野種、糊は三萬八千反を鶴及び

知されるが本年度抜州響で 別志願兵應導者により明かに親いかに閉場されつくあるかは得 つた志願者は百三十六名の多数

思へ前線 送北慰問文

町内の感激・軍國乙女

ては不

注意から

について 原田警察部長談

亞を置する

軍の武御長穴をお祈りしまくとは昨年大都後種以來皇 前六時から朝鮮神宮に日奈

(解題) 同

上は「仕難症治してがは、一次の能率」とは、「大力を変化して、「大力を変化して、「大力を変化」という。 演像

町総代さんから表彰される

さうです【繁富=棚販観さ

水遠の女の岩本正に繪

僧學校 五年生職監書 さん

一方機当ある毎に防火座数割を開了級を翻じ絶えず防火管原をなり

戰爭生活

ん徹

せ

が休まればなるまいと親ひないを感に出た。こんな調子では、三日間病説ののも、

オソ本舗 都南莊

永遠の女

とがつぶれて、既なんてとても

ず殿闘主義を以て臨む方針である

公思想の部及徹底に指車を掛け

総力京城府職盟では十二月繁図班

三、必行事項

愛國班・十二月實踐事項決る

題じ夫々配布した

生れ綴つた氣持になつて戰爭

本年は十月

葉言ひ合

今日はとても悪い日であつ

て下さる。『春』といふ歌である。戦山(戯曲)さんが寄附し つうに見え、時々うはごとを習つ 愈堂で、夕飯な 食べてゐ 小百食1厘元

城に同伴して來たマリアンナがゐた。既ひ側の椅子には、いつか京

食

























自井友之助商店

会需選ばにして明明快話なる タイドストリ大 用 女事務員长 用







深斗 夕 ト 科尿液
高皮

琴、三粒、師







浪花館

感激に發奮興起

育制度質値の經過を願みるに、 | 物系町・ て内地における影響 で

する治泉であり求して、われら半一點融に個へ奉らんとを繋び奉るのから翳はれる一顧同仁の融展に浴、島の民量はじよく、第六無題なる

の宣樹を準盤レ、斯城同節

を統一し、関に昭和十六年四月に

るをその使命とし際代の當

が断行を決定した次領である。以

物心綽々たる餘裕

はさるものがあることを思ふ、これを明めているのがないとというない。

米英の逆宣傳、嚴然事實で粉碎

半島同胞よ

層の御奉公を效せ

倒兵制度とともに曠古の大事業成る けふ教育審議委員會に附議

が果されたことは斯城同胞一視同仁の聖旨に半島人同胞の皇民化を決定づけるべき大英斷大東市共榮勝でふ鴻楽を完遂しつゝあるの秋 他ならず威強これに過ぎるものはない

ハイト

U

n

用

近く

頭

不隨

殿下に攻に分配療状する貯蔵を振器期扱して廿七日彩に襲撃死膝八百五十五、降職ご子九百十四、蝎【南沢田日祠國】交渉跡戦職勝間城院(十二月四日發表)山東衛東記の採職地に散する作戦はわか宮 敵の策動を許さず 獨議第一交戦日に七十回、 ・

超極層合金工具

全國行頭店 运排物差损或含飲

島同胞に輝かしき榮譽 て縄に屋圏民民たるの本質を具有せしめんとするものである。こ 宛賀に金雕の努力を救したるはもとより半島同順また滅滅。交那 制作及の"箕)施"こそ叢統教資制度の質難こそは一親同仁の聖旨に基準年あへ同胞をし のことは膝代縁竇居常局が驀進教育の道及、郷充およびその内容 入り正生過ぎこの割財

警島 餘温なきを期せよ

が一年度實施、施政

の大道へと巨歩を踏み出し、半部 人に一人獲らず就敵を続けられる 人に一人獲らず就敵を続けられる

静 職でこれ ち も 職が出版 出ないないで、 は 関係を 本ま ない し 自 も 解 が と 取 を まま 全

時の



| 一般教育|| 「一般における称語の義| の態度を示して観測の歌子を説明 | 「一般における称語の義| の態度を示して観測の歌子の歌| 「西の音楽である歌兵側離行の歌歌」なべきである歌兵側離行の歌歌 | るべきである

れに次でこんどはまた第一七て回民の三大番節を願くこと

聽 伊東致吴氏談

一視同仁の聖恩

健民報國!! 大坂市戦争図で一周年戦争は登 会務がの機能を呈して米た。 観も記憶もない。 関内をこれ戦

場だ。

取野は関わ扱かればなら

れそればは簡単が利用であられ ばならぬ。 朝夕一杯死~数賞トニクッの御 愛用は闘艦を強健とする事類の

(認點點層) 二五〇瓦 二國九十一鈞 五〇〇瓦 五國二十二錢





限ではなく、標準決定



い光の道 供達に新し

> モン飲乏より招來する賭症に適應 合成品と自らその性能を異にし女性ホル 0 動地區を除く



三共株式會 東京・日本橋・監灯







だと思ひます、親の心臓で百萬が等しく希望した最上

されての目的



仮留と方 版留と方 版を光栄

好評の 急所 (血壓中樞) に特になった。 大学 (大学) (

最近有名なリッケル 病の急所・『血臓が、中血臓が、中血腫が、

常融

油鰤すれば脳溢血で斃れます!

(血壓中樞) に特殊ホルモン

で離れると云が新事賞が世界的 が就芝するや数や狂ひ、右の如 かがでは微然、源流理中 の がは芝するや数や狂ひ、右の如 がなどするや数や狂び、右の如

元が道が

で版が



大戰三 周年と我等の心構へ















佐々木少尉の生家へ 中 國 行一の班

機献納式

鍬の選士婦る

興農青年隊 けふ解團式

第一印刷株式會計廣島市古田町廣島市古田町

止廣

空鹽品





肩の重荷が下りたよ

義務教育實施の喜びを語る

半島皇民化に畫

龍

點

教科書にも採用

愛國百人一首を普及

STATE OF THE PARTY 尾芯家 くなる

物には破

一田原公司田原公